

神戸RC馬場宏之様、西宮RC山本修二様、西宮恵美寿RC松本亘様、根本会員ゲスト山田秀和氏、会員増強ゲスト川崎孝広様、ようこそいらっしゃいました。

昨日は西宮養護学校阪神タイガース選手とのふれあいの事業に参加された皆様ご苦勞様でした。私は参加することが出来ず、申し訳ございませんでした。この事業も8回目を迎え、スタート時から和手先生、勝部先生にお世話になり感謝申し上げます。

今年の12月は例年になく寒く、北日本・北陸に雪が多くなっています。2月にも鳥取で大雪のため車の立ち往生が発生しました。立ち往生する原因は3つあり、1つは当日の大雪です。今回は12時間で1mも積もり、北海道でもこれほどの積雪があると危険な状態になります。しかも鳥取などは北海道と違い、気温が低くないため重たい雪が降ってくるため、車のハンドルもとられやすくタイヤが空転しやすくなります。2つめが除雪作業がはいつた初期の状態では一時的に道路の脇に雪をよけるため道幅が狭くなり、2車線ある道路でもぎりぎり1台通れる道幅になると立ち往生がおきやすくなり、1列に並んで走っている車が何かの原因で動けなくなると一瞬で立ち往生が発生します。3つ目が大型トラックのチェーンの不使用です。大雪になりますと、スタッドレスタイヤ(冬タイヤ)を装着していても、タイヤの溝に雪が詰まりやすくなります。乗用車であればなんとか走行できても、トラックなどになりますと、そうもいきません。車体の重量が重いいためタイヤがどんどん雪を掘って車体が沈んでいきます。チェーンをしていないトラックはこのような状況に陥ります。

平成27年度に国道で立ち往生した547台のうち大型トラックが61%、中型トラックが24%、乗用車が15%です。また立ち往生した車両のうち75%冬タイヤ、25%が夏タイヤです。トラックの場合夏タイヤには2種類のタイヤのトレッドパターンがあり、普通の縫溝とMIXといわれます。昔の乗用車タイヤのスノータイヤのようなトレッドパターンです。25%の夏タイヤというのは、ほぼ全部MIXパターンに近いと思っています。それとトラックの場合、北海道使用という冬タイヤがありまして、ゴムが非常に柔らかいです。各メーカーが作っているかどうかわかりませんが、当然安全のためにはそういうタイヤが必要だと思います。

冬タイヤのことなら隔山さんと木嶋さんに聞けば、私より詳しいと思いますが、長野など雪の多い地域に行くときはタイヤチェーン、毛布、ホッカホカカイロなど常備して走っていただきたいと思います。

最後に、前半戦いろいろお世話になり皆様ありがとうございました。良いお年をお迎え下さい。